

選果板付き適期収穫判別カラーチャートの開発

— おうとう「ジュノハート」用選果板のデザイン開発（第2報） —

Development of harvest time (suitable discrimination) color chart with fruit sorting board

- Design of fruit sorting board for JUNO HEART cherries (Part 2)-

小野 大輔、土嶺 康憲*
(※りんご研究所県南果樹部)

県重点事業「おうとう『ジュノハート』ブランド化推進事業」における、デビューに向けた生産・販売態勢整備の一環として、りんご研究所県南果樹部と共にジュノハートに特化したカラーチャート付き選果板の開発を行った。

昨年度までの試作品は、果実のサイズと色を同時に確認可能、携帯性に優れているといった要件のほか、ブランド化のためにも収穫基準となる選果板は重要なものと考え、耐候性なども考慮し、特に素材は従前から類似例によく見られる厚紙製でなくしっかりとした強度のあるアクリルを基材にデザインした。今年度はこの試作品を、圃場や栽培農家で今シーズンの収穫の機会に実際に試用してもらい、その結果寄せられた現場からの意見を元に改良を行うこととした。

県南果樹部が取りまとめた試用の結果をうけ、果実サイズ確認のため穿つ穴について、今回の品種は3Lサイズ以上が主体となるため、2L～4Lサイズ相当を3L～5L相当に変更した。またカラーチャートの色調については、一部で実際の熟度と色が感覚に合わない旨の指摘があったため、測定したLab値などを参考に県南果樹部と共に再検討、より良い状態を示す色に再調整し、最終試作品の製作を行った。

製品版選果板の製造にあたっては、この最終試作品と設計図面を製造担当企業に見本として示し、全体の完成イメージを共有したことで、色見本や数値での指定が難しいカラーチャートの色味についても忠実に再現してもらうことができ、円滑に進めることができた。

この製品版選果板は、退色を防ぐための遮光保存用紙製ケースとともに500部製作、県りんご果樹課により県内の栽培農家に配布され、おうとう「ジュノハート」の適期収穫によりブランド構築に活用されるものと期待される。なお昨年度申請した本件意匠登録申請について、部分意匠として平成30年11月16日付により意匠登録第1620149号で登録された。



写真1 試用の様子



写真2 配布一式